

2018年1月12日  
TYOGA-1-JAN/18

## チャーター便の日本地区総代理店契約の締結について

ガルーダ・インドネシア航空会社(本社:ジャカルタ、インドネシア 社長兼最高経営責任者:パハラ・ヌグラハ・マンスリ)と、ガルーダ・オリエントホリデーズ・ジャパン株式会社(本社:東京千代田区 代表取締役社長 中平勇夫)は、2018年1月5日に日本におけるガルーダ・インドネシア航空のチャーター便に関して、ガルーダ・オリエントホリデーズ・ジャパン株式会社が日本地区総代理店となる旨の契約を締結しました。

この契約の締結はガルーダ・インドネシア航空の2020年までの成長戦略プログラム"スカイ・ビヨンド"に基づき、グループシナジー追求の一環として行われたもので、日本におけるチャーター便の販売強化とチャーター便による運航便の増加により、日本各地の空港からバリ島をはじめとするインドネシア各地へ旅行されるお客様や、インドネシアから日本各地へ旅行されるインバウンドのお客様、双方の利便性向上とマーケットの需要に対応する事を目的としています。

2億5千万人の人口を有し、成長を続ける東南アジアの牽引役となっているインドネシアは、経済規模の成長が著しく、インドネシアからの訪日旅行者の数は対前年比で30%の増加をしており、さらなる訪日旅行者の増加が見込まれています。加えて、2018年は「インドネシア-日本国交樹立60周年」を迎え、7月にはインドネシアのジャカルタ及びパレンバンにてアジア競技大会が開催されるなど、インドネシアと日本間交流がさらに活発になることが予想されます。

ガルーダ・インドネシア航空会社とガルーダ・オリエントホリデーズ・ジャパン株式会社は、今後もチャーター便の販売強化を通じ、日本各地とインドネシアとの「Two way tourism」促進のための取組みを強化してまいります。

### ■ガルーダ・インドネシア航空会社について

インドネシア共和国を代表する航空会社。会社設立1949年。日本への運航開始は1962年3月。2017年8月時点での保有機体数は200機、平均機体年齢は5年。インドネシアの文化や伝統をベースとした、五感で感じるインドネシア「ガルーダ・インドネシア・エクスペリエンス」がサービスコンセプト。日本発着便には日本人客室乗務員が乗務し、快適な空の旅の提供に努めている。2014年、スカイチームに加盟。スカイトラックス社(英国の格付け会社)による「The World Airline Awards」では、3年連続で「5スターエアライン」認定(2015-2017年)と「The World's Best Airline Cabin Crew」(2014・2015・2016・2017年)を4年連続で受賞している。

### ■ガルーダ・オリエントホリデーズ・ジャパン株式会社について

ガルーダ・インドネシア航空会社のグループ会社として2009年12月3日に設立された旅行会社。(一般社団法人 日本旅行業協会 正会員 / 観光庁長官登録旅行業 第1908号)  
主力部門である、クラブGOH(直販部門)、ホールセール営業部、法人営業部に加え2018年1月より新たにチャーター・セールス部を開設。

＜本リリースに関する問い合わせ＞  
**ガルーダ・インドネシア航空会社** : 篠・南部  
【E-Mail】 [tyock@garuda-indonesia.co.jp](mailto:tyock@garuda-indonesia.co.jp)

＜報道関係者からのお問い合わせ先＞  
**ガルーダ・インドネシア航空** PR事務局: 木村・齋藤(株式会社サステナブル内)  
【E-Mail】 [garuda.PR@sustainable.co.jp](mailto:garuda.PR@sustainable.co.jp) 【電話】 03-3376-6660

**ガルーダ・オリエントホリデーズ・ジャパン株式会社**: 岩崎(チャーター便担当)  
【E-Mail】 [m-iwasaki@garudaholidays.jp](mailto:m-iwasaki@garudaholidays.jp) 【電話】 03-6206-3111